

殿塚・姫塚古墳発掘60周年記念

甦る九十九里の 埴輪群像

—3D考古学の挑戦—

入館無料



埴輪を説明する故・滝口宏名誉教授(中央)

<会 期>

2016年
10月14日(金)～11月19日(土)

<開館時間>

午前10時～午後5時

10/16(日)は午後4時まで、金曜日は午後6時まで開館
(入館はそれぞれ開館時間の30分前まで)

<休 館 日>

日曜・祝日、11月4日(金) ※ただし、10/16、23、11/6(日)は開館

<会 場>

早稲田大学 會津八一記念博物館

1階 企画展示室

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田キャンパス2号館

TEL : 03-5286-3835

URL : <https://www.waseda.jp/culture/aizu-museum/>

■主催 / 早稲田大学會津八一記念博物館、芝山町立芝山古墳・はにわ博物館、
芝山はにわ博物館(芝山仁王尊 観音教寺)

■協力 / 早稲田大学文学部考古学研究室、株式会社ラング



姫塚古墳出土の髭の武人
(芝山はにわ博物館蔵・県指定有形文化財)

早稲田大学

會津八一記念博物館

AIZU MUSEUM, WASEDA UNIVERSITY

甦る九十九里の埴輪群像

—3D考古学の挑戦—

《開催趣旨》

殿塚古墳と姫塚古墳は、千葉県横芝光町に所在する中台古墳群に位置する古墳時代後期(6世紀中頃～後半)の前方後円墳です。1956年に早稲田大学教育学部の故・滝口宏名誉教授の主導のもと、地域ぐるみで学術調査が実施され、姫塚古墳からは、日本最大級の人物埴輪を含む40個体以上もの形象埴輪群が列をなして検出されるなど、全国的な脚光を浴びました。この調査によって、当域の大型前方後円墳の構成や変遷を考えるうえで貴重な成果が得られました。そして、地域の方々の熱意にあと押しされて、両古墳は国指定史跡に、出土埴輪は千葉県指定有形文化財となり、地元の芝山はにわ博物館(芝山仁王尊 観音教寺)にて展示・活用されています。

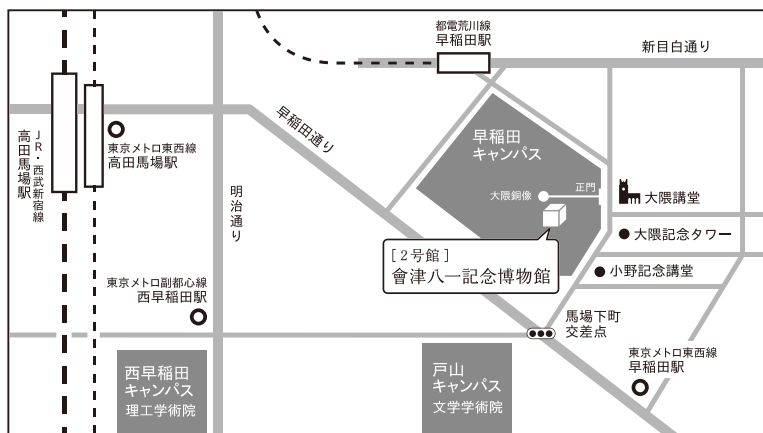
早稲田大学文学部考古学研究室は、殿塚・姫塚古墳の学術調査を2011年から再開し、墳丘と周辺地形の再測量やGPR(レーダー探査)を実施してきました。また、近年は新たに、両古墳を含む九十九里地域の古墳から出土した埴輪の三次元計測を実施しています。殿塚・姫塚古墳の発掘60周年を記念する本展では、九十九里地域の人物埴輪にスポットをあて、三次元情報を活用した埴輪研究の現在を紹介します。人物埴輪の宝庫でありながら、意外に知られていない九十九里の人物埴輪の魅力と、次元を超えて表現されるさまざまな表情をご堪能ください。



形象埴輪列の検出状況(姫塚古墳)



姫塚古墳出土の髯の武人
(芝山はにわ博物館蔵・県指定有形文化財)



<アクセス>

- 東京メトロ東西線「早稲田」駅 3a または 3b 出口より徒歩5分
- 都電荒川線「早稲田」駅より徒歩5分
- JR線・西武新宿線「高田馬場」駅都営バス「早大正門」行き 終点下車徒歩1分
- 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅より徒歩17分

関連企画

早稲田文化芸術週間2016シンポジウム

3D考古学の挑戦

—考古遺物・遺構の三次元計測における研究の現状と課題—

日時／2016年10月16日(日)・17日(月)

午前10時～午後5時

会場／早稲田大学大隈記念講堂小講堂

主催／早稲田大学総合人文科学研究センター

共催／早稲田大学會津八一記念博物館、早稲田大学文学部考古学コース、早稲田大学高等研究所、早稲田大学考古学会、(以下、早稲田大学総合研究機構プロジェクト研究所) 東アジア都城・シルクロード考古学研究所、文化財総合調査研究所、先史考古学研究所、比較考古学研究所、エジプト学研究所

早稲田大学

會津八一記念博物館

AIZU MUSEUM, WASEDA UNIVERSITY